

---

平成22年 第4回 対馬市議会定例会会議録(第4日)

平成22年12月16日(木曜日)

---

議事日程(第4号)

平成22年12月16日 午前10時00分開議

- 日程第1 議案第105号 平成22年度対馬市一般会計補正予算(第5号)  
歳入は、所管委員会にかかる歳入  
歳出は、1款・議会費、2款・総務費、9款・消防費  
10款・教育費、12款・公債費、13款・諸支出金  
議案第124号 対馬市過疎地域自立促進特別事業基金条例  
議案第142号 対馬市過疎地域自立促進計画について
- 日程第2 議案第105号 平成22年度対馬市一般会計補正予算(第5号)  
歳入は、所管委員会にかかる歳入  
歳出は、3款・民生費、4款・衛生費  
議案第138号 対馬市特別養護老人ホームの指定管理者の指定について
- 日程第3 議案第105号 平成22年度対馬市一般会計補正予算(第5号)  
歳入は、所管委員会にかかる歳入  
歳出は、6款・農林水産業費、7款・商工費  
8款・土木費、11款・災害復旧費  
議案第136号 対馬市温泉施設の指定管理者の指定について
- 日程第4 陳情第5号 国民健康保険療養費国庫負担金の調整(減額)廃止を  
求める陳情について
- 日程第5 陳情第6号 TPPに関する陳情について
- 日程第6 発議第7号 郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書について
- 日程第7 発議第8号 離島医療の医師確保対策を求める意見書について
- 日程第8 発議第9号 アルミ3胴船(トリマラン)建造を船舶共有建造制度によ  
り実現することを求める意見書について

---

本日の会議に付した事件

- 日程第1 議案第105号 平成22年度対馬市一般会計補正予算(第5号)  
歳入は、所管委員会にかかる歳入

- 歳出は、1款・議会費、2款・総務費、9款・消防費  
10款・教育費、12款・公債費、13款・諸支出金
- 議案第124号 対馬市過疎地域自立促進特別事業基金条例
- 議案第142号 対馬市過疎地域自立促進計画について
- 日程第2 議案第105号 平成22年度対馬市一般会計補正予算（第5号）  
歳入は、所管委員会にかかる歳入  
歳出は、3款・民生費、4款・衛生費
- 議案第138号 対馬市特別養護老人ホームの指定管理者の指定について
- 日程第3 議案第105号 平成22年度対馬市一般会計補正予算（第5号）  
歳入は、所管委員会にかかる歳入  
歳出は、6款・農林水産業費、7款・商工費  
8款・土木費、11款・災害復旧費
- 議案第136号 対馬市温泉施設の指定管理者の指定について
- 日程第4 陳情第5号 国民健康保険療養費国庫負担金の調整（減額）廃止を求  
める陳情について
- 日程第5 陳情第6号 TPPに関する陳情について
- 日程第6 発議第7号 郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書について
- 日程第7 発議第8号 離島医療の医師確保対策を求める意見書について
- 日程第8 発議第9号 アルミ3胴船（トリマラン）建造を船舶共有建造制度によ  
り実現することを求める意見書について

---

出席議員（20名）

1番 脇本 啓喜君	2番 黒田 昭雄君
3番 小田 昭人君	4番 長 信義君
5番 山本 輝昭君	6番 松本 臚幸君
8番 齋藤 久光君	9番 堀江 政武君
10番 小宮 教義君	11番 阿比留光雄君
12番 三山 幸男君	13番 初村 久藏君
14番 糸瀬 一彦君	15番 桐谷 徹君
16番 大浦 孝司君	17番 小川 廣康君
18番 大部 初幸君	19番 兵頭 栄君
21番 島居 邦嗣君	22番 作元 義文君

---

欠席議員（２名）

7番 阿比留梅仁君

20番 中原 康博君

---

欠 員（なし）

---

事務局出席職員職氏名

局長 橘 清治君 次長 梅野 泉君

参事兼課長補佐 長野 元久君 副参事兼係長 國分 幸和君

---

説明のため出席した者の職氏名

市長	財部 能成君
副市長	大浦 義光君
副市長	齋藤 勝行君
政策補佐官	松原 敬行君
地域再生推進本部長	永尾 榮啓君
観光物産推進本部長	本石健一郎君
総務部長	平山 秀樹君
総務課長	桐谷 雅宣君
市民生活部長	近藤 義則君
福祉保健部長	扇 照幸君
農林水産部長	比田勝尚喜君
建設部長	斉藤 正敏君
水道局長	阿比留 誠君
教育長	梅野 正博君
教育部長	大石 邦一君
美津島地域活性化センター部長	長郷 泰二君
豊玉地域活性化センター部長	中村 敏明君
峰地域活性化センター部長	大川 昭敬君
上県地域活性化センター部長	武田 延幸君
上対馬地域活性化センター部長	川本 治源君
消防長	竹中 英文君

会計管理者 …………… 糸瀬 良久君  
監査委員事務局長 …………… 主藤 繁明君  
農業委員会事務局長 …………… 永留 秋廣君

---

午前10時00分開議

○議長（作元 義文君） おはようございます。報告します。阿比留梅仁君、中原康博君より、欠席の届出がっております。

これから、お手元に配付しております議事日程第4号により、本日の会議を開きます。

---

**日程第1. 議案第105号・第124号・第142号**

○議長（作元 義文君） 日程第1、議案第105号、平成22年度対馬市一般会計補正予算（第5号）、議案第124号、対馬市過疎地域自立促進特別事業基金条例及び議案第142号、対馬市過疎地域自立促進計画についての3件を一括議題とします。

3件は、総務文教常任委員会に付託しておりましたので、委員会の審査報告を求めます。副委員長、初村久藏君。

○議員（13番 初村 久藏君） おはようございます。委員長が欠席のため私が報告を行います。

総務文教常任委員会審査報告書。平成22年第4回対馬市議会定例会の初日において、会議規則第37条の規定により本委員会に付託されました案件については議長あて報告しており、既にご皆様のお手元に配付されております。その経過と結果を同規則第103条の規定により報告いたします。

当委員会は、平成22年12月10日、阿比留梅仁委員長は欠席でしたが、豊玉地域活性化センター3階第1会議室において議会事務局、市長部局、消防本部、教育委員会の説明員の出席を求め、慎重に審査をいたしました。その結果を報告書の2ページの16行目から報告をいたします。

議案第105号、平成22年度対馬市一般会計補正予算（第5号）のうち、本委員会に係る歳入については、10款地方交付税4億2,984万4,000円の追加、14款国庫支出金2項国庫補助金1目総務費国庫補助金において、デジアナ変換設備整備事業補助金520万8,000円の追加、8目教育費国庫補助金において、安全・安心な学校づくり交付金1,107万5,000円の減、15款県支出金2項県補助金1目総務費県補助金において、緊急地域雇用創出事業交付金で追加採択による466万円の追加、ふるさと雇用再生特別基金事業交付金で計画の見直しによる1,833万9,000円の減、18款繰入金2項基金繰入金において、教育施設整備基金繰入金450万円の減、20款諸収入5項雑入において、新規ビジネス応援事業補助金返還金等

267万5,000円の追加、21款市債1項市債1目総務債において、過疎地域自立促進特別事業基金積立事業債等4億490万円の増、11目臨時財政対策債4億4,080万円の追加が主な内容となっております。

歳出の主な内容については、1款議会費は、費用弁償及び交際費で64万8,000円の追加、2款総務費は、1項総務管理費1目一般管理費9節旅費で職員派遣旅費及び普通旅費335万4,000円の追加、13節委託料で職員健康診断委託料等361万5,000円の減、3目財政管理費で過疎地域自立促進特別事業基金積立金3億9,000万円の追加、5目財産管理費11節需用費で万松院公衆トイレ浄化槽改修ほか2件の修繕料及び公用車車検費用等151万2,000円の追加、13節委託料で旧教員住宅解体工事等に伴う設計委託、本庁舎空調設備改修に伴うフロンガス回収破壊処理等委託料101万4,000円の追加、15節工事請負費で豆殿地区3棟の旧教員住宅解体工事等933万7,000円の追加、7目企画費15節工事請負費で地上デジタル放送への完全移行後において、既存のテレビでも受信できるよう対処するため、国庫補助金を活用したデジアナ変換設備整備工事等946万円の追加、19節負担金、補助及び交付金で、地方バス路線の欠損に伴う補助金の追加等1億156万7,000円の追加、8目市民協働推進費は、過疎債のソフト事業に充当されたことによる一般財源から地方債への財源内訳の変更、9目国際交流費19節負担金、補助及び交付金で財団法人対馬国際交流協会補助金600万円の追加、11目諸費は、既存の防犯灯修繕及び厳原町管内の防犯灯設置工事等287万2,000円の追加、2項徴税費2目賦課徴収費23節償還金、利子及び割引料で、法人市民税等確定による還付金1,000万円の追加が主な内容となっております。

次に、9款消防費は、1目常備消防費11節需用費で車両等修繕料として100万円の追加、18節備品購入費で豊玉出張所高規格救急自動車搭載の半自動除細動器購入経費として317万1,000円の追加、2目非常備消防費11節需用費で消防団員の防火着60着の購入費として210万円の追加、3目消防施設費18節備品購入費で消防団の消防ポンプ積載用トラック購入経費の不足分及び本署の多機能指揮車1台、出張所の広報車2台の購入費として1,134万8,000円の追加、4目防災対策費15節工事請負費で河川災害復旧工事による舟志地区防災行政無線移設工事として226万8,000円の追加が主な内容となっております。

次に、10款教育費は、1項教育総務費2目事務局費19節負担金、補助及び交付金で加志々中学校、南陽中学校、豊中学校及び豆殿幼稚園の閉校等に伴う行事等に関する補助金として300万円の追加、2項小学校費1目学校管理費1節報酬及び4節共済費で大船越小学校嘱託職員人件費として137万1,000円の追加、11節需用費で仁田小学校トイレ改修等15校分の修繕料として458万5,000円の追加、3目学校建設費は、厳原小学校耐震化事業費の減による1,641万1,000円の減、3項中学校費1目学校管理費11節需用費で仁田中学校運

動場岩盤撤去等10校分の修繕料等206万7,000円の追加、4項幼稚園費1目幼稚園費19節負担金、補助及び交付金で私立幼稚園就園奨励費補助金として140万4,000円の追加、5項社会教育費2目公民館費18節備品購入費でありあけ会館スポーツ用品等購入費として340万6,000円の追加、3目文化財保護費11節需用費で昭和10年代から昭和30年代の対馬の風俗「あの頃の対馬」と題した冊子700部の印刷製本費として117万6,000円の追加、6項保健体育費1目保健体育総務費19節負担金、補助及び交付金でスポーツ活動振興補助金156万1,000円の追加、2目体育施設費11節需用費で厳原体育館照明取替ほか6事業分の修繕料等133万6,000円の追加、15節工事請負費で上対馬総合運動公園野球場ナイター照明改修工事として102万4,000円の追加、3目学校給食費11節需用費で上対馬学校給食共同調理場の高圧気中開閉器取替等9件の修繕料として194万6,000円の追加が主な内容となっております。

次に、12款公債費は縁故債繰上償還金として、13款諸支出金は旅客定期航路事業特別会計繰出金として追加するものであります。

今回の補正予算でデジアナ変換設備整備事業が計画されておりますが、事業実施にあたっては、市民、特に高齢者等に対し、理解しやすい内容で速やかに周知徹底を図られるよう委員会として要請したところであります。

議案第124号、対馬市過疎地域自立促進特別事業基金条例については、過疎地域における住民福祉の向上、雇用の増大、地域格差の是正及び美しく風格のある地域の形成を計画的かつ円滑に促進するため、地方自治法第241条第1項の規定に基づき制定するものであり、過疎対策のための基金を新たに造成し、当該基金の資金または運用益の一部を過疎地域自立促進特別事業に要する経費の財源として活用することにより、長期的な視点での過疎地域の自立を図ることとしております。

議案第142号、対馬市過疎地域自立促進計画については、平成22年4月1日に「過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律」が施行されたことに伴い、今回、「平成22年度～平成27年度までの6カ年の対馬市過疎地域自立促進計画」を策定しようとするもので、今回その内容について審査を行ったところであります。

この6カ年の計画では、産業振興など9項目に区分され、事業数279件、事業費453億9,155万5,000円、うちソフト事業が91件、114億544万4,000円が計画されております。

計画の内容としては、7ページにおきまして、上位計画である長崎県長期総合計画における「対馬地域における生活創造圏づくりの方向性」及び「対馬地域を含んだ広域交流圏づくりの方向性」が記載されており、18ページ以降に、地域の自立促進の基本方針として、総合計画基本

構想及び新市建設計画に基づく、「対馬市の将来像、対馬市の基本方針、今後の方向性」が順次記載されています。

特に、今後の方向性として、「ハードからソフト重視」、「地域資源を活用した雇用と産業の創出」、「安全・安心な生活の確保」そして、「より良い環境づくり」が掲げられております。

29ページの産業の振興から、各項目における現況と問題点、その対策、平成22年度から平成27年度までの6カ年の事業計画予定が記載されております。

なお、今回の改正で、新たな過疎対策としてソフト事業が追加され、事業の目的、内容、効果を事業別に詳しく記載されているところです。

47ページから交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の促進、55ページから生活環境の整備、60ページから高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進、65ページから医療の確保、68ページから教育の振興、73ページから地域文化の振興等、75ページから集落の整備について記載されています。

なお、77ページのその他地域の自立促進に関し必要な事項として、「森・人里・海」を踏まえた形での「環境」という分野の施策を重点的に取り組むことで地域の自立促進につなげていくこととされております。

この計画は、6カ年の間に対馬市が過疎債等により取り組むべき事業が網羅されており、新たな事業が必要になった場合は、県、国と協議し、議会に諮って変更するという説明を受けております。

以上、本委員会に付託されました議案第105号、議案第124号及び議案第142号の3議案につきましては、慎重に審査し、採決の結果、いずれも賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上で、総務文教常任委員会の審査報告といたします。

○議長（作元 義文君） 報告が終わりました。

これから報告に対する質疑を行います。議案第105号は各常任委員会に分割付託しておりましたので、産業建設常任委員会の審査報告後一括して審議することにします。

議案第105号を除く2件について質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 質疑なしと認めます。質疑を終わります。

これから2件に対する討論、採決を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 討論なしと認めます。討論を終わります。

議案第124号対馬市過疎地域自立促進特別事業基金条例及び議案第142号対馬市過疎地域

自立促進計画についての2件に対する委員会報告はいずれも可決であります。

お諮りします。委員会報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○議長（作元 義文君） 異議なしと認めます。

2件は委員会報告のとおり可決されました。

---

## 日程第2. 議案第105号・第138号

○議長（作元 義文君） 日程第2、議案105号、平成22年度対馬市一般会計補正予算（第5号）及び議案第138号、対馬市特別養護老人ホームの指定管理者の指定についての2件を一括議題とします。

2件は、厚生常任委員会に付託しておりましたので、委員長の審査報告を求めます。委員長、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 厚生常任委員会の審査報告を行います。

平成22年第4回対馬市議会定例会において、会議規則第37条の規定により、本委員会に付託されました案件は、議案第105号、平成22年度対馬市一般会計補正予算（第5号）のうち、歳入は、所管委員会に係る歳入、歳出は、3款民生費、4款衛生費、議案第138号、対馬市特別養護老人ホームの指定管理者の指定についての2議案について、その審査の経過と結果を、同規則第103条に規定により、次のとおり報告します。

当委員会は、12月10日、豊玉地域活性化センター3階小会議室において、全委員出席のもと、市長部局より近藤市民生活部長、扇福祉保健部長並びに担当課長の出席を求め、慎重に審査をいたしました。

議案第105号、平成22年度対馬市一般会計補正予算（第5号）。

歳入の主なものとして、14款国庫支出金1項1目民生費国庫補助金2,144万5,000円の増額、2項2目民生費国庫補助金で、938万8,000円の増額、15款県支出金2項2目民生費県補助金866万5,000円、3目衛生費県補助金638万6,000円の増額、また、21款市債2目民生債4,700万円の増額は、福祉のまちづくり推進事業、障害者福祉医療給付、高齢者生活支援給付費事業、乳幼児福祉医療費給付事業の財源とするものであります。

次に、歳出の主なものは、3款民生費1項社会福祉費1目社会福祉総務費3,248万6,000円は、乳幼児医療の現物給付に伴う給付システム改修、福祉のまちづくり推進事業補助金、障害者福祉医療費、自立支援給付費、地域生活支援事業給付費等の支出見込みの増額計上であります。5目老人福祉費430万5,000円の増額は、対馬老人ホームの維持補修工事、民間グループホームへのスプリンクラー、自動火災報知設備に対する補助金の追加であります。



2項2目の児童福祉施設費2,109万1,000円の増額は、臨時保育士賃金、施設の修繕料が主な理由となっております。3項生活保護費2目扶助費2,650万円の増額は不足分によるものであります。

次に、保健衛生に関する3款民生費1項4目国民健康保険費28節繰出金523万8,000円、4款衛生費1項1目保健衛生総務費28節繰出金7,802万4,000円はそれぞれ特別会計に繰り出すものであります。

4款衛生費1項4目環境衛生費983万5,000円の増額は、つつじの苑の空調機器修繕費、犬捕獲器、公用車購入、EM培養装置の仕込み材料購入によるものであります。2項清掃費3目し尿処理費1,076万円の増額は、中部クリーンセンター汚泥焼却炉耐火物打ち替え点検修理、厳美清華苑汚泥肥料運搬用フォークリフト購入によるものであります。

議案第138号、対馬市特別養護老人ホームの指定管理者の指定について。

特別養護老人ホーム浅茅の丘は対馬市行財政改革大綱の実施計画に基づき、昨年より公設民営施設へ移行する指定管理者の選定準備を進めてまいりましたが、最終的な応募の対象は、長崎県内に事業所を営む社会福祉法人であることとし、平成22年8月9日より平成22年9月9日を応募期間とし、申し込みは5社と報告されております。

受託事業者の選定方法は、対馬市指定管理者選定委員会（10人のうち7人は外部委員）により決定する旨とし、最終的に指定管理者は、対馬市厳原町田淵933番地、社会福祉法人あすか福祉会理事長素花弘氏を、平成23年4月1日から平成28年3月31日まで指定するものであります。参考ではありますが、選定基準は、申請者の提案書に10人の委員がそれぞれ採点をした結果を集計したのものにより決定されたとのことでありました。

なお、同施設内には市職員11名、嘱託職員18名、臨時職員1名が従事されておりますが、市職員は引き続き市職員として他部署で勤務することとし、嘱託職員は希望により受託業者が継続雇用するとのことでありました。

以上、本委員会に付託されました、議案第105号及び議案第138号の2議案につきましては、慎重に審査し、採決の結果、いずれも賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上、厚生常任委員会の審査報告といたします。

○議長（作元 義文君） これから議案第138号、対馬市特別養護老人ホームの指定管理者の指定について、委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから議案第138号について討論、採決を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

お諮りします。本件に対する委員長報告は可決であります。委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 異議なしと認めます。本件は委員長報告のとおり可決されました。

---

### 日程第3. 議案第105号・第136号

○議長（作元 義文君） 日程第3、議案第105号、平成22年度対馬市一般会計補正予算（第5号）及び議案第136号、対馬市温泉施設の指定管理者の指定についての2件を一括議題とします。

2件は産業建設常任委員会に付託しておりましたので、委員長の審査報告を求めます。委員長、小川廣康君。

○議員（17番 小川 廣康君） 産業建設常任委員会の審査報告を申し上げます。

平成22年第4回対馬市議会定例会の初日において、会議規則第37条の規定により本委員会に付託されました、議案第105号、平成22年度対馬市一般会計補正予算（第5号）、歳入は所管委員会に係る歳入、歳出は6款農林水産業費、7款商工費、8款土木費、11款災害復旧費、議案第136号、対馬市温泉施設の指定管理者の指定についての2議案について、その審査の経過と結果を同規則第103条の規定により報告をいたします。

当委員会は、12月10日、豊玉地域活性化センター3階第2会議室において、全委員出席のもと、説明員として、永留農業委員会事務局長、比田勝農林水産部長、本石観光物産推進本部長、近藤市民生活部長、斉藤建設部長と各地域活性化センター一部長並びに担当課長等の出席を求め、慎重に審査をいたしました。

議案第105号、平成22年度対馬市一般会計補正予算（第5号）のうち、本委員会に係る歳入については、12款分担金及び負担金において、2目農林水産業費分担金で26万円6,000円の増、14款国庫支出金において、1項国庫負担金4目災害復旧費国庫負担金で1億7,280万円の減、2項国庫補助金6目土木費国庫補助金で700万円の増であります。

15款県支出金では、2項県補助金4目農林水産業費県補助金で1億1,506万2,000円の増、21款市債では、農林水産業債を5,800万円、商工債を160万円、土木債を3,180万円、それぞれ増額し、災害復旧債を4,320万円減額するものであります。

歳出については、6款農林水産業費のうち1項農業費で、「ながさき食と農」支援事業補助金、維持補修工事の追加等により722万6,000円の増、2項林業費では、松くい虫防除委託料、

林道開設工事等の追加により6,149万4,000円の増、3項水産業費では、各漁港の整備工事、維持補修工事の追加等により、1億690万4,000円の増が主な補正であります。

7款商工費は、2目商工振興費で、対馬産品インターネット販売促進事業の不採択による減、韓国人観光客お買い物満足度アップ事業委託料の増、3目観光費において対馬の知名度アップのための番組企画委託料等の追加により783万円の増であります。

8款土木費では、2項道路橋梁費2目道路維持費で、維持補修工事等の追加により2,707万3,000円の増、3目道路新設改良費において道路改良工事の追加等により1,528万円の増、3項河川費では維持補修工事の追加により1,096万3,000円の増、4項港湾費では比田勝港ターミナル、厳原港ターミナルの改修、維持補修工事の追加により2,194万7,000円の増、6項住宅費では修繕料、維持補修工事の追加により749万3,000円の増であります。

11款災害復旧費では、事業費の決定により農林水産施設災害復旧費を1億550万円減額、公共土木施設災害復旧費を80万円増額するのが、今回の主な補正であります。

議案第136号、対馬市温泉施設の指定管理者の指定については、湯多里ランドつしまについて、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5カ年間、対馬市美津島町根緒468番地80、有限会社対馬ビルサービスを指定管理者として指定しようとするものであります。

以上、本委員会に付託されました、議案第105号及び議案第136号の2議案は、慎重に審査し、採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

なお、審査の過程で出されました意見を申し添えますので、今後の行政運営に反映されることを望みます。

まず、農林水産部所管においては、鮮魚流通システム会社、カタログ通信販売会社との業務提携がなされ、現在2漁協が加入し、その発送処理に係る経費が計上されていますが、未利用魚の付加価値向上のため、さらに他の漁協にも参加を求め、漁業生産者の所得向上に努められるよう希望します。さらに、対馬の水産業振興には、藻場の再生をはじめとして、漁場の構築を図らなければなりません。その次に、いかに流通コストの軽減を図るかであります。特に、海上輸送費の軽減のため、各関係機関と連携を図りながら課題解決に向けて検討されることを望みます。

また、イノシシ被害対策については、平成21年度においても5,600頭の捕獲、237キロメートルのワイヤーメッシュの設置にもかかわらず、その被害を軽減することができません。

農林業の振興を図る上で、抜本的な解決策を模索するためにも、専門的に取り組む担当課の設置等が必要と思われるので、今後、検討されることを望みます。

次に、観光物産推進本部において、福岡市での対馬認知度・知名度向上による観光客誘致のため、福岡事務所を中心として各種事業に取り組んでいることは評価するものでありますが、福岡

事務所の設置による費用対効果を求めるのは、時期尚早とは思いますが、検証する必要があると思われしますので、検討されることを望みます。

最後に、建設部所管の工事請負費において、各地域活性化センターからの要望により、維持補修工事等が数多く計上されていますので、速やかに発注されることを望みます。

このことは、農林水産部、観光物産推進本部においても同様であります。

以上で、産業建設常任委員会の審査報告といたします。議員各位の御賛同をよろしくをお願いいたします。

○議長（作元 義文君） これから議案第136号、対馬市温泉施設の指定管理者の指定について、委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから議案第136号について討論、採決を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

お諮りします。本件に対する委員長報告は可決であります。委員長報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 異議なしと認めます。本件は委員長報告のとおり可決されました。

次に、各常任委員会に分割付託しておりました議案第105号、平成22年度対馬市一般会計補正予算（第5号）について、一括質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 質疑なしと認めます。質疑を終わります。

これから本件について討論、採決を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

お諮りします。本件に対する各常任委員会の報告は可決であります。各常任委員会の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 異議なしと認めます。本件は各常任委員会の報告のとおり可決されました。

---

#### 日程第4. 陳情第5号

○議長（作元 義文君） 日程第4、陳情第5号、国民健康保険療養費国庫負担金の調整（減額）廃止を求める陳情についてを議題とします。

本件は、厚生常任委員会に付託しておりましたので、審査報告を求めます。委員長、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 陳情第5号の厚生常任委員会の審査報告を行います。

平成22年第4回対馬市議会定例会において、会議規則第37条の規定により本委員会に付託されました、陳情第5号、国民健康保険療養費国庫負担金の調整（減額）廃止を求める陳情についての審査の経過と結果を、同規則第103条の規定により報告します。

当委員会は、12月10日、豊玉地域活性化センター3階小会議室において、全委員出席のもと、市長部局より、扇福祉保健部長並びに担当課長の出席を求め、慎重に審査を行いました。

福祉医療費であります、乳幼児医療費（0歳から6歳（就学前））は、現在償還払い方式となっております。これは、病院で請求された全額を窓口で支払わなければならない、その後、精算事務を個人が申請するものとし、限度額を超えた分を払い戻しする制度であります。長崎県下の市町では、平成23年4月から窓口で自己負担分だけ支払う現物給付方式を行うものとしています。今後、病院にかかる患者は増えることが予測され、医療費も伸びることから、国は増額による国庫負担金の減額調整を行う方針であります。少子化対策の意味を含め、この制度を廃止するよう求めるものでございます。

なお、本市の場合、試算によりますと、国庫負担金の減少額は260万円程度となっております。

本委員会は、陳情第5号の趣旨は十分理解できるものと判断するところであり、賛成多数により採択すべきものと決定いたしました。

以上、厚生常任委員会の審査報告といたします。

○議長（作元 義文君） 報告が終わりました。

これから報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 質疑なしと認めます。質疑を終わります。

これから討論、採決を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

お諮りします。本件に対する委員長の報告は採択であります。委員長報告のとおり採択することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 異議なしと認めます。したがって、陳情第5号は委員長報告のとおり採択されました。

---

#### 日程第5. 陳情第6号

○議長（作元 義文君） 日程第5、陳情第6号、TPPに関する陳情についてを議題とします。

本件は、産業建設常任委員会に付託しておりましたので、審査報告を求めます。委員長、小川廣康君。

○議員（17番 小川 廣康君） 産業建設常任委員会の審査報告を申し上げます。

平成22年第4回対馬市議会定例会の初日において、会議規則第37条の規定により本委員会に付託されました、陳情第6号、TPPに関する陳情について、その審査の経過と結果を同規則第103条の規定により報告をいたします。

当委員会は、12月10日、豊玉地域活性化センター3階第2会議室において、全委員出席のもと慎重に審査をいたしました。

政府は、先月9日の閣議決定において、環太平洋戦略的経済連携協定、いわゆるTPPにかかわる基本方針を決定し、TPPへの参加は決定しなかったものの、「その情報収集を進めながら対応していく必要があり、国内の環境整備を進めるとともに、関係国との協議を開始する。」としております。

TPPは、完全な貿易自由化を目指した協定であり、農林水産業に与える影響は甚大なものと予想されます。

今回の陳情は、「食料自給率を高めるために、TPPには参加しないように国に意見書を提出すること」を趣旨とする、長崎県農民運動連合会長からの陳情であり、その意図は理解できるものの、関係機関の動向を見守りながら対応すべきとの意見が出され、慎重に審査するため、閉会中の継続審査とすることに決定をいたしました。

以上で、産業建設常任委員会の審査報告といたします。

○議長（作元 義文君） 報告は終わりました。

これから報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

お諮りします。本件に対する委員長報告は閉会中の継続審査とするものであります。委員長報告のとおり閉会中の継続審査とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 異議なしと認めます。陳情第6号、TPPに関する陳情については閉会

中の継続審査とすることに決定しました。

しばらく休憩します。

議会運営委員会にお諮りしたいことがございますので、堀江委員長、委員会の招集をお願いします。再開は追って連絡をいたします。

午前10時47分休憩

.....

午前11時15分再開

○議長（作元 義文君） 再開します。

報告します。

会期日程の3枚目を差し替えております。

また、発議第7号の提出先の誤字がありましたので、差し替えさせております。

---

#### 日程第6. 発議第7号

○議長（作元 義文君） 日程第6、発議第7号、郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書についてを議題とします。

本件について、提出者の趣旨説明を求めます。11番、阿比留光雄君。

○議員（11番 阿比留光雄君） 発議第7号に対する提案理由を申し上げます。

郵政民営化後、3年余りが経過しましたが、その行き過ぎた分割のため現行法のもとでは、高齢化等により社会的弱者の多い離島や過疎地では、利用者に対するサービスの低下にとどまらず、郵便局のさらなる統廃合が懸念されます。このような事態を解消するためには、郵政改革法案の成立が不可欠と考え、意見書の採択を求めるものであります。

これより発議第7号について説明を申し上げます。

発議第7号、平成22年12月16日、対馬市議会議長作元義文様。提出者、対馬市議会議員阿比留光雄、賛成者、対馬市議会議員長信義、同、桐谷徹、同、三山幸男。

郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書について。上記の議案を、別紙のとおり地方自治法第112条第2項及び会議規則第14条の規定により提出します。

郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書（案）

平成19年10月、郵政民営化がされ約3年が経過したが、主に民営化の形態に端を発する原因により、対馬の利用者へのサービスに対する不満の声が多く上がっており、現在の郵政民営化は国民生活の向上に結びついていない。また、現行法のもとでは、貯金・保険のユニバーサルサービスの維持の担保が制度的に欠落しており、将来の対馬における郵政サービスに支障が出るのではないかという不安は禁じ得ない。

朝鮮半島を望む国境の島対馬において、島内にあまねく設置されている郵便局ネットワークは住民生活にとって必要不可欠な郵便・貯金・保険の基礎的なサービス提供の拠点としても高い可能性を有するインフラである。郵便局ネットワークと住民へのサービス提供が将来にわたって安定的に維持されるよう、適切な制度上の措置をとることは、対馬の住民生活を守る上で極めて重要である。

行き過ぎた分社化を見直し、経営の自由度を拡大することで、国民共有の財産である日本郵政グループの経営資源を国民のために有効に活用される道を開くことは、対馬をはじめとする地域の活性化、ひいては日本国経済の活性化につながるものである。

よって、対馬市議会は、国会及び政府に対し、郵便局ネットワークと郵便・貯金・保険のユニバーサルサービスの維持を制度的に担保する等、現在までの郵政民営化により発生している諸問題を解消する郵政改革法案を速やかに成立させ、地域と日本の再生につながる、よりよい郵政事業の実現を強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。平成22年12月16日、長崎県対馬市議会。提出先、衆議院議長横路孝弘様、参議院議長西岡武夫様、内閣総理大臣菅直人様、総務大臣片山善博様、郵政改革担当・内閣府特命大臣（金融）自見庄三郎様。

これをもちまして説明を終了します。議員皆様の御賛同をよろしくお願いいたします。

○議長（作元 義文君） これから質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

お諮りします。本件は、会議規則第37条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 異議なしと認めます。したがって、本件は、委員会付託を省略することに決定しました。

これから討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

お諮りします。発議第7号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 異議なしと認めます。したがって、発議第7号は原案のとおり可決されました。



## 日程第7. 発議第8号

○議長（作元 義文君） 日程第7、発議第8号、離島医療の医師確保対策を求める意見書についてを議題とします。

提出者の趣旨説明を求めます。16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） 発議第8号、平成22年12月16日、対馬市議会議長作元義文様。提出者、対馬市議会議員大浦孝司、賛成者、対馬市議会議員阿比留梅仁、同じく小川廣康。離島医療の医師確保対策を求める意見書について。上記の議案を、別紙のとおり地方自治法第112条第2項及び会議規則第14条の規定により提出します。

離島医療の医師確保対策を求める意見書（案）。

住民の生命と健康を守るためには、医療体制の確保が極めて重要ですが、地方やへき地といった特定の地域、特に本市のような離島地域における近年の医療制度改革以降、医師不足の問題はますます深刻化しています。

さらに、医師の絶対的不足は、過酷な労働環境をもたらし、過密労働の医師が体調を崩し、さらなる医師不足を招くという悪循環をもたらしています。

本市においても、医師確保に向けて懸命の努力を続けていますが、大変困難な状況にあり、地域医療の確保・継続が崩壊の危機にあります。

しかし、これらの問題解決は、個々の自治体のみでは到底不可能であります。

よって、国において、県、大学、学会、医師会などとの連携のもと、抜本的な医師確保対策を講じられるよう強く要望します。

記。1、離島・へき地の地域医療を担う医師及び医療従事者等の養成と地域への定着を促進するため、専門医養成段階における離島地域医療従事者の義務化など、新たな要員派遣システムを国の責任で構築すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。平成22年12月16日、長崎県対馬市議会。提出先、内閣総理大臣様、衆議院議長様、参議院議長様、厚生労働大臣様。

以上であります。

○議長（作元 義文君） これから質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

お諮りします。本件は、会議規則第37条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 異議なしと認めます。したがって、本件は、委員会付託を省略すること





○議員（17番 小川 廣康君） 私が言いたかったのは、いずれ議長が、議長あてに提出された陳情書、これが受け付けされとるならば、それはおのずとしてやはりこの議会、議場の中で慎重に審査をし、していくのが私は議会ルールのあり方だろうと思いますが、その陳情書がどういう形で今なってるのか、提出者並びに、私は、議長にお尋ねを申したいと思います。その陳情書が受け付けがされてるのかどうか。提出者がお答えにくければ、議長でも答えていただきたいと思っています。

○議長（作元 義文君） 10番、小宮教義君。

○議員（10番 小宮 教義君） ちょっと休憩いいですか。

○議長（作元 義文君） 暫時休憩します。

午前11時36分休憩

.....

午前11時46分再開

○議長（作元 義文君） 再開します。

10番、小宮教義君。

○議員（10番 小宮 教義君） 先ほど、私が趣旨説明の中で、○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○この部分については削除をお願いしたいと思います。

○議長（作元 義文君） ただいま10番から申し出がありましたので、議長によって適切にその辺は削除します。よろしいですね。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） ほかに質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

お諮りします。本件は、産業建設常任委員会に付託して、会期末でありますので閉会中の継続審査としたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 異議なしと認めます。発議第9号は、産業建設常任委員会に付託して、会期末でありますので閉会中の継続審査にすることに決定をいたしました。

暫時休憩します。

午前11時47分休憩

.....

午前11時50分再開

○議長（作元 義文君） 再開します。

お諮りします。ただいま大浦孝司君ほかから、発議第10号、国民健康保険療養費国庫負担金の調整（減額）廃止を求める意見書についてが提出されました。これを日程に追加し、追加日程第1として直ちに議題にしたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 異議なしと認めます。発議第10号、国民健康保険療養費国庫負担金の調整（減額）廃止を求める意見書についてを日程に追加し追加日程第1として直ちに議題とすることに決定しました。

---

### 追加日程第1. 発議第10号

○議長（作元 義文君） 追加日程第1、発議第10号、国民健康保険療養費国庫負担金の調整（減額）廃止を求める意見書についてを議題とします。

提出者の趣旨説明を求めます。16番、大浦孝司君。

○議員（16番 大浦 孝司君） それでは、陳情第5号の採択に伴う発議第10号を読み上げます。

発議第10号。平成22年12月16日、対馬市議会議長作元義文様、提出者、対馬市議会議員大浦孝司。賛成者、対馬市議会議員阿比留梅仁、同じく小川廣康。

国民健康保険療養費国庫負担金の調整（減額）廃止を求める意見書について。

上記の議案を、別紙のとおり地方自治法第112条第2項及び会議規則第14条の規定により提出します。

国民健康保険療養費国庫負担金の調整（減額）廃止を求める意見書（案）。

平成22年1月1日に厚生労働省が発表した2008年度合計特殊出生率は1.37であり、人口を維持するのに必要な2.08への回復は依然として困難で、まさに危機的な水準を推移している。

深刻な少子化の進行の中で、子育て中の世帯への直接的な経済援助、育児への心理的支援は大変重要である。

このため、地方自治体は厳しい財政状況の中で、対象年齢の引き上げや、助成制度の支払い方法の改善など、保護者の要望にこたえて子ども医療費助成制度の拡充を進めてきた。

ところが、医療費助成について窓口での支払いが不要な「現物給付」にした場合には、国民健康保険の国庫負担金が調整（減額）され、「現物給付」にしている市町村では、財政運営上の大きな支障となっている。

政府は、少子化対策に取り組んでいるが、国民健康保険に対する国庫負担金の調整（減額）は、これに矛盾する措置である。

よって、政府におかれては、乳幼児・児童医療費助成制度等に係る国庫負担金の調整（減額）を廃止されるよう、強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。平成22年12月16日、長崎県対馬市議会。提出先は、内閣総理大臣様、財務大臣様、厚生労働大臣様、総務大臣様。

以上であります。

○議長（作元 義文君） これから質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 質疑なしと認めます。質疑を終わります。

発議第10号について討論、採決を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 討論なしと認めます。討論を終わります。

お諮りします。発議第10号は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 異議なしと認めます。したがって、発議第10号は原案のとおり可決されました。

お諮りします。本会議における議決の結果、条項、字句、数字その他において、整理を要するものがあるかと思料されます。その整理権を会議規則第43条の規定によって議長に委任願います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（作元 義文君） 異議なしと認めます。したがって、整理権は議長に委任することに決定しました。

この際、申し上げます。12月9日に行われました、中原康博君の一般質問中、議長が発言取り消しの留保をいたしておりました発言の一部について配付用会議録から削除することに決定しましたので報告します。

---

○議長（作元 義文君） 以上で、本日の議事日程はすべて終了しました。

市長よりあいさつの申し出がっておりますので、これを受けます。市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 定例会の閉会に当たりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

今定例会に当たりましては、12月7日から本日までの10日間にわたり慎重に御審議いただき、まことにありがとうございました。おかげさまで、御提案申しあげましたすべての議案につきまして御決定賜り厚く御礼申し上げます。

今定例会における議員皆様からの御意見につきましては、市政に十分反映させるよう一生懸命

取り組んでまいる所存でございます。

議員皆様の一層の御協力、御指導方よろしくお願ひ申し上げます。

また、定例会にて御意見がございました離島医療の医師確保対策につきましては、早速、定例会終了後に上京し、離島地域における医療制度の現状などを訴え、新たな要員派遣システムの構築など、抜本的な離島医療の医師確保対策について厚生労働大臣あて強く要望してまいりたいというふうに考えております。

私といたしましても、本日同趣旨の意見書が採択され、市議会としての早速の行動に対し、感謝申し上げる次第でございます。

また、この問題につきましては庁内にPT、プロジェクトチームを立ち上げております。私ども、国だけをお願いをするのではなく、私どもの職員全員でこの医師確保に向けた動きをしていきたいというふうに考えておるところでございます。

今後につきましても、何かと御協力賜りますようよろしくお願ひいたします。

また、職員の人事異動を、来年1月1日付にて予定をいたしております。特に、今回の異動につきましては、環境実践モデル都市の選定や環境王国、カーボンオフセット、新エネルギーなどの問題を一元的に指導できるよう、市民生活部内に担当部署を設け、新たに専任の職員を配置する予定であります。

今後におきましても、環境政策の推進に御指導、御協力賜りますようよろしくお願ひいたします。

さて、これから日に日に寒さが厳しくなっておりますが、議員皆様には健康に十分留意されますようお願いいたします。

ことしも余すところあとわずかになってまいりました。来る平成23年の新年を御家族とともに健やかに迎えていただき、新年が皆様にとりまして最高の年となりますよう、御祈念申し上げます。

また、既に御案内を差し上げておりますように、来年1月5日には消防出初め式を、1月9日には成人式を、それぞれ予定をしております。新年早々お忙しいところではございますが、議員皆様には御出席賜りますようお願いいたします。

これから、年末年始を控え、何かと無理が生じる時期でございます。議員皆様には御健勝にて、ますます御活躍されますよう祈念申し上げまして、閉会のあいさつとさせていただきます。どうもありがとうございました。

**○議長（作元 義文君）** 閉会に当たり一言ごあいさつを申し上げます。

平成22年第4回定例会は議案全般にわたり熱心に御審議をいただきまして、ここに滞りなく閉会の運びとなりました。議員各位はもとより、市長以下、市幹部の方々の御協力に対しまして

も心からお礼を申し上げます。

また、審議の中で出ました貴重な意見や指摘事項等につきましては、今後の行政運営に活かされることを期待をいたしております。

平成22年も残すところあとわずかとなりました。今年は、我が対馬、国境離島、外海離島にとっていろんな問題がありましたが、国に対して離島の重要性を知らしめる機会であったと思います。23年はさらに国境としての対馬をアピールできるよう、さらに市当局と連携を密にしながら議会活動を進めていかなければならないというふうに思っております。市民の生活向上に向けて努力を続けていただきたいというふうに思います。

皆様方のさらなる御健勝と御多幸を祈念し、閉会のあいさつといたします。

会議を閉じます。

平成22年第4回対馬市議会定例会を閉会します。お疲れさまでした。

午後0時01分閉会

---



会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長 作元 義文

署名議員 初村 久藏

署名議員 糸瀬 一彦

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長

署名議員

署名議員